

第4回安中市行政改革審議会行政改革大綱策定検討部会会議録【概要】

(以下、敬称略)

- 【日 時】 平成26年9月29日(月)午後14時～16時
【場 所】 市役所202会議室
【出席部会員】 5名(小竹、千葉、武井、田島、松井)
【欠席部会員】 1名(茂木)
【事務局】 4名(総務部長、企画課長、行革情報統計係長、担当職員1名)
【配付資料】

会議次第

- 1 第2次安中市行政改革大綱(たたき台③) ※事前に郵送
- 2 たたき台③の追加修正 8、9項
- 3 第1回、第2回行政改革大綱策定検討部会会議録
- 4 行政評価外部評価の日程調整について
- 5 市長所信表明(平成26年9月市議会定例会)

【詳細】

- 1 開会 《総務部長》
- 2 挨拶 《小竹部会長》
【部会長より挨拶】

3 協議事項

第2次行政改革大綱について 《司会：小竹部会長》

<説明>事務局

- ・ 前回の部会の議論を反映させた行政改革大綱(たたき台③)を事前に郵送している。修正箇所は青字で記載。
- ・ 1項 「1 行政改革に対するこれまでの取り組み」を「1 これまでの行政改革に対する取り組み」に変更。
- ・ 1項 【図表-1】“目立った進展がないもの”を“目立った進展がないと捉えられるもの”に変更。
- ・ 3項 人口の平成12年ピーク時の実数(64,893人)を追加。
- ・ 7項 “地方分権の進展”を“地方分権の進展と課題”に変更。
- ・ 8項 8、9項については差替えのため追加で資料を配付。
- ・ 8項 “今後財政状況は良くなることはありません。”を“今後の財政状況が好転する要素は少ないと言えます。”に変更。
- ・ 8項 平成24年度決算をもとにした文章だったが、最新の平成25年度決算をもとにした内容に修正した。経常収支比率が86.6%から103.8%へと悪化。前年比で法人市民税が約15億円

の減収、普通交付税が約5億8700万円の減収が主な理由。大綱自体は5年間に跨がるものだが、単年度の内容だけで断定的に説明してしまってよいのか要検討。

- ・ 8項 実質公債費比率、将来負担比率の説明を文章化。
- ・ 9項 【図表-12】各市の順位を追加。現時点では財政課収集資料をもとに作成。後ほど、群馬県市町村課作成平成25年度市町村の財政状況の確定した数字を載せる予定。
- ・ 10項 表現を修正。“市民”と“住民”が混在しているので修正する。
- ・ 11項 “市民のニーズを間断なく的確に把握し”を“市民のニーズを間断なく的確に把握し優先順位を決め”に変更。
- ・ 11項 「人と人とを結び、活力ある街づくり」市長の所信表明より引用。
- ・ 11項 “担当課が違うと言って”を“担当課が違うことを理由に”に変更。
- ・ 11項 “市民ニーズも行政の諸施策の中に優先順位としてどこに位置づくののかについてもきちんと検討する必要があるのは言うまでもありません。”を追加。
- ・ 11項 「すぐ応答する課」と「すぐやる課」の順序を逆にした。
- ・ 11項 “もちろん住民エゴではない市民ニーズをきちんと把握し施策に取り組んでいくことが重要です。”を追加。
- ・ 12項 “NPOの足腰を強くするためには中間組織の設置は今後必須となります。”を追加。
- ・ 14項 指定管理者制度についての記述をⅡ-1から移行。

<審議>

- 「行政改革大綱（たたき台③）について検討を始める。指摘の順が前後しても構わない。

10項の“行政評価”について

- 評価後の進展状況を確認する機関があったほうがよいのではないか。
- 行政評価の結果、行政がどう動いたのか経過観察する必要があるということ。文章を追加する。
- 人事異動があると、進展がそこで止まり課題が置き去りになってしまっていないか。
- 行政改革のアフターフォローについて詳しく記述する。

5項【図表-8】、【図表-9】、6項【図表-10】

- 人口問題に関しての図表が多すぎる。
- 大綱全体のバランスとして、前半部分に図表が多すぎる。
- 5項【図表-9】、6項【図表-10】についてはあくまで将来の予測の割合なので削除してもよいかもしれない。
- 【図表-8】の下の部分に、行を追加して【図表-9】、【図表-10】記載の割合を追加するか。
- 【図表-9】、【図表-10】を削除し、【図表-8】に組み込むようにする。

11項「(2) 市民ニーズを間断なく把握」

- “優先順位としてどこに位置づけるのかについて”の部分の意味が分かりにくい。
- 再検討する。

12項「(4) 市民のやりがいと市民力を引き出す仕組み作り」

- 文脈的にNPOの話が急に出てきた印象がある。
- 市民との協働を進めるためにはNPOが必要だが、安中市にはNPOがあまりない。そこでNPOの足腰を強くする必要があるという主旨だが、それを説明する文章が抜けてしまっている。補足する。

14項の“サンセット方式”について

- 用語の説明が必要。
- まだ文章ができていない部分なので次回までに追加する。

10項で“マンパワーが必要”について

- これは人件費が増えるということ。一方で行政改革としてコスト削減を謳っている。矛盾するような内容。内容がうまくつながるように考えた方がよい。
- マンパワーというと人の人数という意味合いが強く聞こえるが、担当者の能力向上によって打開していくという意味合いにしたい。表現を再検討する。

13項「(4) 人事制度の見直し」

- 国の制度改革の内容を見つつ、見直すこととする。

14項「3 効率的で弾力的で機動性のある組織の整備」

- 未着手。次回までに全面的に修正する。

14項“指定管理者”について

- 現在どのような状況か。
 - 全国的に成功しているとは言にくい。指定管理者が管理することで、サービスの質を向上させ、経費を削減し、利益を上げ、それを市に還元するというのが本来のあり方だが現状そのようになっていない。
- 県の指定管理者でも利益が出ている所はそれほどないと聞く。場所や分野による。県営公園の管理はあまり黒字ではないが、一方で県営ゴルフ場では黒字のようだ。県営ヘリポートは黒字額が小さいがなぜやっているか指定管理者に聞くと、ヘリポートをいくつか管理しておかないと技術が落ちるといふことがあるようだ。利益が出なくても指定管理者を引き受けるところもある。必ずしも利益をあげなければいけないというわけではない。

11項の“すぐやる課”について

- 書くべきかどうか検討する。
- すぐやる課に配置する職員には相当な能力が要求される。できることとできないことを一定の基準に照らしきちんと判断し、それを論理的に説明できる力が必要。
- 他の部署の職員を説明や対応をするように現場に呼ぶことができる権限も必要となる。

8項「(3) 財政状況」

- 最新の年度だけの内容で書くのでは誤解を招くので、“今年度の一時的な要因であるが”という文言を追加するとか、過去数年間の平均の数値を入れるとか、そういった検討をしてほしい。

4 その他

- ・ 部会は次回が最後になるようにしたい。
- ・ 行政改革審議会の委嘱期間（平成26年11月30日まで）の説明と次期審議会参画依頼。
- ・ 行政評価外部評価の日程調整を依頼し、その場で出席委員5名全員の回答を得た。
- ・ 第5回部会は平成26年10月20日（月）14時からとする。

5 閉会